

第9回小金井市新型インフルエンザ等対策本部部会会議録	日 時	令和2年4月2日(木) 10:45~12:15	場 所	庁議室
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、高橋庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、大澤子ども家庭部長、天野広報秘書課長、宮奈地域安全課長、穂山地域安全課係長、内野職員課長、畑野人事制度等担当課長、堤行政経営担当課長、石原健康課長、本木健康課主査、郡司健康課主任			
欠席者	なし			
付議事項	1. 東京都からの報道発表について 2. 市長会から東京都への緊急要望について 3. 学校再開ガイドライン 4. 市民への今週末についての呼びかけについて 5. 職員応援体制について 6. 各部報告事項			
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症患者の市内発生に係る質問のQ&amp;A</li> <li>・都内新型コロナウイルス陽性患者報道数</li> <li>・各自治体のHP掲載状況(杉並区、調布市、小平市、武蔵野市)</li> <li>・新型コロナウイルス感染症への対応 東京都への要望事項</li> <li>・市長からの注意喚起「新型コロナウイルス感染症の危機を乗り越えるために」</li> <li>・新型コロナウイルス等対策本部の事務局機能の強化に向けて</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策に係る連絡会開催について</li> <li>・新型コロナウイルスに関する対応について</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止の特別支援学校の対応状況</li> </ul>			
<p><b>1 東京都からの報道発表について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は毎日、自治体別の人数が公表される。東京都は感染爆発警戒地域と言われているため。</li> <li>・ 杉並区と調布市のホームページの掲載状況から、小金井市も同様のものの作成を検討すべきである。</li> <li>・ 健康課で作成したQ&amp;Aについて。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 武蔵野市が公表している内容を参考にしてはどうか。</li> <li>・ 感染者の情報収集は保健所の業務であり、市では困難。</li> <li>・ 市で把握していないという言い方でもよいのかどうか。</li> <li>・ 明日までにどう公表の考え方を早急にまとめることが必要。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>2 市長会から東京都への緊急要望について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の要望提出から1か月が経過し、現時点での東京都への緊急要望についての照会である。</li> <li>【市民部】 制度融資以外の事業者支援策について要望したい。</li> <li>【生涯学習部】 公共施設休館に伴う指定管理者、委託業者の支援。前回要望の(2)1をより具体的にしたいものをお願いしたい。</li> <li>【福祉保健部】 医療崩壊を起こさないための要望をあげたい。</li> </ul> <p><b>3 学校再開ガイドライン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各部報告のところで発表</li> </ul> <p><b>4 市民への今週末についての呼びかけについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先週は市長からの“お願い”だったが、今回は“注意喚起”とするべきか。</li> <li>・ 若者も重症化するというを出したほうがよいのではないか。</li> <li>・ 武蔵野市のように過去のを削除しないほうがよいのではないか。</li> </ul> <p>→理事者一任とさせていただきたい。</p> <p><b>5 職員応援体制について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月末までの約半年間、本部付き担当職員(事務2人、保健師1人)の配置をお願いしたい。保健師は健康課で対応するが事務2人については各部から配置してほしい。</li> </ul> <p>業務内容としては単なる作業要員ではなく、全体を見て、企画立案や各種業務を各所管課と連携・調整して遂行するものである。求めているのは率先して情報収集し、仕事を作り上げ、健康課長に進言でき</p>				

る人材が必要ではないか。

- ・新型インフルエンザ行動計画に各部所管業務が掲載されている。そのうえで事務局に人員が必要な場合には、増員か応援かということとなる。
- ・東京都ではオリンピックが延期になったことで、オリンピックパラリンピック事務局関連からコロナ対策に人員を移していることを鑑みると、本市では、業務中止等に伴い、応援可能などところがあるのであればそこから応援を出すことを検討できるのではないか。健康課に派遣を行った部署には、臨時職員を充てるといえるのはどうか。
- ・求められる職務内容からすると、本部付き担当職員は様々な実務に通じた職員を配置する必要がある。

## 6 各部報告事項

【総務部】「新型コロナウイルスに関する対応について」の通知についての説明

【福祉保健部】特別支援学校については基本的には継続していく方向で検討中

【子ども家庭部】・昨日から学童保育の新学期がスタートしたが、約75%の児童が登園

- ・4月18日の子供関連行事については中止
- ・学校の休校が延長となった場合、学童は朝から運営し、人員不足については児童館から応援するため、児童館の閉館もあり得る。

【議会事務局】・5月の議員視察は延期

- ・休校を5月6日までとするならば、会派代表者会議を開催したほうがいいと思う。

【学校教育部】・公立小中学校の休校は東京都に準じて5月6日まで休校を念頭に置く。

- ・入学式、始業式は予定通り実施し、その後は週2日程度、分散登校による登校日を設け、登校後は自由勉強とする。登校は午前のみとして、給食はなく、午後は課題のある子どもたちのケアに努めたい。
- ・学校休校の決定、連絡は、4月2日午後の校長会で検討し、翌3日午前に各学校から回答。3日午後の対策本部で最終決定し、発表する。

以上で終了